

# 文化力の旅 旅鶴プラン300

## 歌のこころ、紀の国への旅(3)

やまと歌はひとのこころを種として、の古今和歌集の序文を書いた紀貫之。紀国国造を務めた豪族紀氏の出身。温暖な気候にあわせ、新しい技術が海運・水運のネットワークで伝わり、豊富な木材で火にも恵まれて製鉄・鋳物などが発展した紀国のこころは、伸びやかでまたあわれを知る。

この季節のご紹介は、  
特にございません。

虎伏山の空高く雄姿を誇る和歌山城は国宝。築城は秀吉の弟秀長。後に徳川御三家の居城として家康の第十子頼宣が入城、250年に渡る西国第一の要衝となる。城の北西麓、頼宣造営の紅葉溪庭園。傾斜地を活用し二段の池や滝を設け、内堀に池亭「鳶魚閣」を配す。江戸時代、茶室等を置く庭園を城内に造るのはめずらしかった。

この季節催事情報特にございません。



(左)和歌山城天守閣 写真提供:和歌山市役所 (右)鳶魚閣 写真提供:和歌山市役所



紅葉溪庭園  
TEL:073-431-8648  
和歌山城  
(問合せ)和歌山城天守閣  
和歌山県和歌山市一番丁三番地  
TEL:073-422-8979  
(開)9:00-17:30 (休)無  
(料)大人400円 小人(小中生)200円

旅鶴倶楽部  
会員特典

この季節のご案内は特にございません。



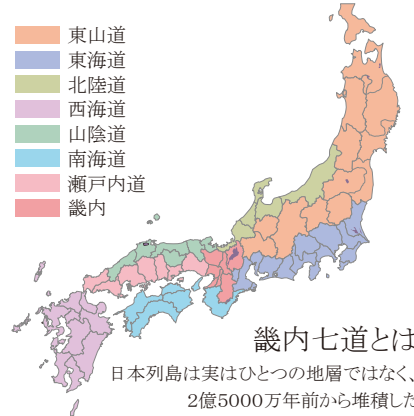
竪穴住居 写真提供:和歌山県立風土記の丘

この季節のご紹介は、  
特にございません。

和歌山市郊外の丘陵地に広がる和歌山県立紀伊風土記の丘。古墳時代後期の岩橋千塚古墳群を保全・研究し竪穴式住居を復元。岩橋千塚古墳群からは翼を広げた鳥形埴輪、顔が二つある両面人物埴輪、馬に乗り矢を射る為の腰にさげられた「矢入れ具」、武具のころく形埴輪が出土。紀の国国造紀氏の基盤、朝鮮半島との繋がりが見えてくる。

この季節催事情報特にございません。

和歌山県立紀伊風土記の丘  
和歌山市岩橋1411 TEL:073-471-6123  
(開)9:00-16:30 (休)月(祝日の場合は翌日)年末年始 (12/28-1/3)  
(料)一般190円 大生90円 小中高生・65歳以上 無



### 畿内七道とは

日本列島は実はひとつの地層ではなく、2億5000万年前から堆積した陸や海の地層が北や南、西や東から集まりかさなりあって出来ている。1300年前大和政権が律令国家となり、その日本の成り立ちにそって各地方を区分したのが畿内七道だった。

旅鶴倶楽部  
会員特典

学芸員によるミニガイド(但し10名様から 10名様以下の場合は缶バッチ進呈) 但し、学芸員ご在時の対応。事前連絡要。

## つながりあう日本三十六景畿内七道の文化施設をご紹介します

南海道

### 熊野本宮大社

和歌山県田辺市本宮町本宮1110  
☎0735-42-0009

船玉祭(ふなたまい)  
平成24年1月14日(土)、4月14日(土)

御主神である素盞鳴尊(すさのおのみこと)は樹木を支配する神。植林を奨励し、造船の技術を伝えた由縁より、大漁満足と海上安全を祈る祭典。(撰末社海神社<式内社>ご祭神 上・中・底錦津見神が祀られている)



写真提供:熊野本宮大社

南海道

### 金剛峯寺

和歌山県伊都郡高野町高野山132  
☎0736-56-2011

正御影供(しょうみえく)  
平成24年3月21日(水)9:00~ 奥之院燈籠堂にて

真言宗開祖空海御入定の日に、全山住職をあげてお大師さまに報恩を捧げる。1年間高野山の重要な法会の御導師を勤める「法印御房」が御出仕、大勢の参拝者で華やかに賑わう。



写真提供:金剛峯寺

南海道

### 熊野那智大社

和歌山県那智勝浦町那智山  
☎0735-55-0321

節分祭  
平成24年2月3日(金)9:00~14:00

那智の滝を見渡し迫懸式では境内では約15m先にある鬼と朱文字で書かれた直径1.5mの大的めがけ矢を放つ。宝物殿の回廊からは袴姿の参拝客らが枡を手に豆まきをする。



写真提供:熊野那智大社

南海道

### 熊野速玉大社

和歌山県新宮市新宮1  
☎0735-22-2533

御燈祭  
平成24年2月6日(月)

祭神と縁故深き神倉神社で約1400年続く勇壮な火祭神事。「上り子」が神倉山頂から538段の急な石段を駆け下り、松明の炎がふもとまで帯を描き「下り竜」と歌われる。



写真提供:熊野速玉大社



金剛峯寺 一の橋から奥之院

### 空海自身を実感できる 静けさに深い調和の景観

弘法大師・空海は遣唐使船で唐へ渡り、密教奥義を授かり帰国後、標高800mの高野山を八葉蓮華と見なし、金剛峯寺を拠点に曼荼羅世界を築こうとした。「弥勒菩薩が現れる釈迦入滅後56億7千万年後に必ず戻る」と言い残し、承和2(835)年62歳で入定。今も空海が眠る金剛峯寺奥之院、一の橋から御廟まで約2km続く参道は静かで穏やかな空気に満ち、その時を待ち続けるかの如く。

金剛峯寺

和歌山県伊都郡高野町高野山132  
TEL:0736-56-2011



旅鶴倶楽部 責任編集「旅鶴プラン300」

スタイルカフェ・ドット・ネット

〒541-0053大阪市中央区本町2-5-7 大阪丸紅ビル1F TEL:06-6264-7140

今回ご紹介する文化施設の催事につきましては、東日本大震災の影響で一部に変更する可能性もございます。最新の情報は、右のサイトでご確認を!



旅鶴 応援 検索

平成23年4月15日開設